

—井上雄彦「リアル」が「スカパー！」とコラボレーション！—  
11月のスカパー！は最新刊発売にちなみ、“まるごと”「リアル」の特番3本！  
ヤングジャンプコミックス「リアル」9巻 11/26(木)発売！！  
**「井上雄彦の世界 リアル×スカパー！」**

①「リアルトーク 井上雄彦×京谷和幸」11/26(木)後7:00～

②「リアルメイキング09」11/26(木)後8:30～

③「リアルゲーム38th. 第38回日本選手権をみて井上雄彦が感じたこと」12/6(日)後7:00～

スカパーJSAT株式会社(本社:東京都港区、代表取締役執行役員社長:秋山政徳)は、株式会社 集英社 週刊ヤングジャンプで好評シリーズ連載中の車椅子バスケットマンガ「リアル」(井上雄彦著)とコラボレーションし、11月に「井上雄彦の世界 リアル×スカパー！」を特集で放送します。

スカパー！では、2008年から男女の車椅子バスケットボール日本選手権の決勝試合と北京パラリンピック 車椅子バスケットボール 男女日本代表の全試合を放送しており、車椅子バスケットボールの魅力と迫力を伝え続けています。

一方、週刊ヤングジャンプ(集英社)で好評連載中の「リアル」は、車椅子バスケットを題材にした発行部数1,000万部超の大人気シリーズ。11月26日(木)にはヤングジャンプコミックス「リアル」9巻が発売されます。今回スカパー！では、その発売にちなみ発売日当日の11月26日に、「リアル」の作者、井上雄彦さんを起用した「井上雄彦の世界 リアル×スカパー！」企画を立ち上げ、下記の3番組をハイビジョンで放送します(※「リアルゲーム38th.」のみ12月6日初回放送)。「リアル」と井上雄彦さんがたっぷり詰まった「井上雄彦の世界 リアル×スカパー！」に乞うご期待！

「井上雄彦の世界 リアル×スカパー！」ウェブサイト:<http://spbb.jp/real/>



©2009 I.T.Planning,Inc.

①リアルトーク 井上雄彦×京谷和幸

<内容>車椅子バスケット日本代表・京谷和幸との井上雄彦初の対談番組。11月26日(木)の「リアル」9巻発売と同日に放送。2人の車椅子バスケットの出会いや車椅子バスケット、「リアル」を通じて伝えたいこと、今後の夢まで…、2人の男が静かに熱い思いを語り合います。

<初回放送日時> 11月26日(木) 後7:00～8:30

<放送チャンネル>スカパー！HD Ch.190(HD)/スカパー！Ch.180(SD)/

スカパー！e2 Ch.800(HD)



©尾形正茂 (SHERPA)



©尾形正茂 (SHERPA)

◆収録後のコメント

<井上雄彦さん>

Q: 対談を終えて

「自分が経験していないことを経験して乗り越えてここまで来ている人なのでいつも何かもらうんですね。今日もエネルギーをもらったし、勉強になったし、会えてよかったです」

Q:今日の収録で印象に残っている話・エピソードは？  
「(京谷選手が)ロンドンのパラリンピックまで頑張るといのはうれしかった」

Q:対談の中で「リアル」に活かせることはありましたか？  
「車椅子バスケット(サッカーと同じ)スペースのスポーツだと(京谷選手が)気づいたというのが、すごい、なるほど  
と思い、今後に活かせるかなと思いました」

<京谷和幸選手>

Q:対談を終えて

「すごく楽しかったから時間が経つのがあっという間でした。自分でしゃべっているように  
ただ先生の話にすうっと引き込まれる瞬間があって。以前にヤングジャンプで対談  
したことがあるんですが、やっぱり学ぶことが多いですね。言葉の一つ一つ。今回も  
井上先生と話をさせていただいて本当にまた成長できたなという感じがします」

Q:印象に残っている言葉は？

「全部です。(井上先生に関する)色々なテレビ番組を見ていて、さすが井上雄彦だな  
という。全部とは言わないまでも、井上雄彦という人物をまた体験できて本当によかつ  
たなと思います」



©尾形正茂 (SHERPA)

## ②リアルメイキング 09

- <内容> 大人気漫画「リアル」の制作過程に密着し、完成するまでを映像化したドキュメント番組。  
「リアル」誕生のルーツに迫る！ 井上雄彦の車椅子バスケット取材の貴重なVTRも！
- <初回放送日時> 11月26日(木) 後8:30~9:00
- <放送チャンネル> スカパー！HD Ch.190(HD)/スカパー！Ch.180(SD)/スカパー！e2 Ch.800(HD)

## ③リアルゲーム 38th. 第38回日本選手権をみて井上雄彦が感じたこと

- <内容> 実際のリアルな車椅子バスケットをみて、井上雄彦は何を語るのか。5月放送した男子日本  
選手権決勝をもとに、車椅子バスケット・NO EXCUSEの及川晋平と熱く語る！
- <初回放送日時> 12月6日(日) 後7:00~7:55
- <放送チャンネル> スカパー！HD Ch.190(HD)/スカパー！Ch.180(SD)/スカパー！e2 Ch.800(HD)

### ◆井上雄彦(いのうえ・たけひこ)プロフィール

1967年1月12日生まれ、鹿児島県出身。

1988年「楓パープル」で第35回手塚賞に入選し、デビュー。

1990年より1996年まで「SLAM DUNK」を「週刊少年ジャンプ」(集英社)にて連載する。この作品が日本におけるバ  
スケットボールブームの火付け役となり、2004年には国内発行部数1億部を突破し、第40回小学館漫画賞や、日  
本のメディア芸術100選においてマンガ部門1位に選ばれている。

1998年から宮本武蔵を題材にした「バガボンド」を「モーニング」(講談社)で、1999年から車イスバスケットボール  
を題材にした「リアル」を「週刊ヤングジャンプ」(集英社)にて、それぞれシリーズ連載中。

「リアル」は既刊累計1,000万部を突破し、第5回メディア芸術祭優秀賞を受賞している。

またその著作は、日本だけでなく世界各国で翻訳出版され、絶大な人気を誇る世界的マンガ家である。

さらに、2006年には集英社とともに、日本の高校を卒業後、アメリカの大学あるいはプロとしてバスケットボールを  
続ける意思と能力を持つ選手をアメリカのプレップスクールに派遣し、その間の学費や生活費を援助する奨学金制  
度「スラムダンク奨学金」を設立したり、2009年4月11日から6月14日まで、熊本市現代美術館にて「井上雄彦  
最後のマンガ展 重版<熊本版>」を開催し話題を呼ぶなど、多方面で意欲的に活動中。

公式サイトはINOUE TAKEHIKO ON THE WEB : [www.itplanning.co.jp/](http://www.itplanning.co.jp/)

### ◆京谷 和幸(きょうや・かずゆき)プロフィール

1971年8月13日生まれ/172cm、74kg

パラリンピック 車椅子バスケットボール日本代表

株式会社インテリジェンス 障がい者リクルーティングアドバイザー

小学校2年からサッカーを始め、室蘭大谷高校時代にはバルセロナオリンピックの日本代表候補に選出。1991年からは、Jリーグ ジェフ市原(現 ジェフ市原・千葉)のMFとして活躍していたが、1993年の交通事故で脊髄損傷。車椅子生活を始める。

リハビリの一環から車椅子バスケットボールに出会い、1994年より千葉ホークスでプレー。2000年シドニー、2004年アテネのパラリンピックには日本代表として出場し、2008年の北京パラリンピックでは日本選手団の主将も務めた。現在は、(株)インテリジェンス(人材総合サービス業)提供の障がい者専門の転職支援サービス「DODA チャレンジ」にて、企業や個人に向けたアドバイスを行う“障がい者リクルーティングアドバイザー”として活動。そのほか、全国での講演会や車椅子バスケットボール教室なども積極的に行なっている。09年3月には自身の実話が映画「パラレル」として公開された。

## <リアル基本情報>



【ヤングジャンプコミックス「リアル」9巻】

発売日 11月26日(木)

定価 630円(税込)

体裁 B6判、216p

発行 集英社

【既刊情報】

リアル 1～7巻 定価各620円(税込)、8巻 定価630円(税込)

著者の井上雄彦が「SLAM DUNK」の連載終了後、主にロサンゼルス・レイカーズのゲームを観るためにアメリカに住んでいた時、TVで偶然放映されていた車イスバスケットを観たことがきっかけで生まれた作品。

「週刊ヤングジャンプ」(集英社)1999年48号よりシリーズ連載中のこの作品は、第5回メディア芸術祭優秀賞を受賞。

2008年に発売された8巻でコミックスの既刊累計発行部数は1,000万部を突破し、2009年11月26日(木)にはヤングジャンプコミックス「リアル」第9巻が発売される。

2005年「リアル」5巻の発売にあわせてマンガ界初の109の巨大ポスターを登場させ、2006年は「リアル」6巻の発売にあわせ、カラオケの曲間に「リアル」のプロモーションムービーを流すなどUSENグループとのコラボを実施。2007年には「リアル」7巻と「バガボンド」27巻(講談社)の同時発売を記念し、それぞれの主人公がいっしょに広告に登場するなど、集英社と講談社がコラボ広告を新聞等で展開。その広告は読売出版広告大賞、スポーツニッポン広告大賞を見事受賞。2008年、「リアル」8巻と結成10周年を迎えた「コブクロ」の、漫画と音楽のジャンルを超えた夢のコラボが実現した。

## ◇ストーリー

バスケットを辞めてから何もかもがうまくいかなかった男・野宮朋美、骨の癌によって片足を失いスプリンターの夢をあきらめた戸川清春、盗んだ自転車で事故を起こし脊髄損傷になってしまった高橋久信。

三者三様、道を見出すために懸命にあがき生きるさまを、車イスバスケットを通じて井上雄彦が渾身の力で描く！それぞれのリアルが今、動き出す—。